



展示会の準備進捗状況等を報告

愛知県管工機材商業協同組合（理事長：石原太郎氏・原芳商會社長）は11月4日午後3時より、名古屋市中区伊勢山にある同組合事務所にて11月理事会を開催。理事16名が出席した。2025年最後の開催となる本理事会では、「第35回管工機材設備総合展」準備進捗状況の報告、各部会事業に関する報告、新年賀詞交歓会準備進捗状況の報告などが行われた。

冒頭、石原理事長が「皆さんお忙しいなか理

事会にお集まりいただき

ありがとうございます。本日は議事も盛り沢山で

すが、このあと夕方5時

から広報部会の会議が予

定されていますので、ス

ムーズな議事進行を心掛

けたいと思います」と挨

拶。引き続き、以下の議

事についての報告・審議

が行われた。

【経過報告】●9月9

日▽愛知県豊田市の藤岡

カントリークラブで「第

55回名管会ゴルフ大会」

を開催。●同11日▽イン

テックス大阪6号館で開

催された大阪組合主催

「第22回管工機材・設備

総合展」開会式に石原理

事長、村井善幸副理事長

（オータケ会長）、倉地克

明展示会実行委員長（倉

地社長）、鈴木克利展示会

実行副委員長（米津物産

社長）、事務局員が出席。

その後、展示会を視察。

●10月22日▽名古屋市港

区のポートメッセなごや

で開催された、愛知県機

械工具商業協同組合共催

「スマートロジスティク

ス」を石原理事長

と、愛知県中小企業団体

中央会主催「第74回中小企

業団体愛知県大会・講

示会第74回中小企

業団体愛知県大会・講

上半期の産業機械受注総額

5年連続で増加、前年同期比 27.5%増

日本産業機械工業会 アジアの増加により外需は47.0%増

日本産業機械工業会の増加により38.2%増(会長:川崎重工業会長)が11月17日発表した2025年度上半期(2025年4月~9月)の産業機械受注総額は、前年同期比27.5%増の3兆590億円となり、5年連続で前年同期を上回った。内需は17.5%増の2兆1840億円となり、2年ぶりに前年同期を上回った。内需のうち、製造業向けは化学工業、石油・石炭、鉄鋼、非鉄金属、造船業店向けは2.8%増の2103億円となった。一方の外需は、アジアの増加により47.0%増(1兆4068億円)となり、2年連続で前年同期を上回った。外需で増加した機種はボイラ・原動機(18.9%増)、鉱山機械(0.1%増)、化学機械(冷凍機械4.1%増)、その他の機械(45.1%増)など。減少した機種は、プラットック加工機械(25.4%減)、ポンプ(6.7%減)、送風機(3.0%減)、変速機(15.7%減)の4機種だった。

2025年度グッドデザイン賞

ミツトヨ

SJ-220シリーズが受賞

今年は有

ミツトヨ(社長:沼田

リーズ)が2025年

度グッドデザイン賞(主

催:公益財団法人日本デ

ザイン振興会)を受賞し

たと発表した。同社のグ

ト:ブランド「TRUSCO

CO」から次の2商品が

グッドデザイン賞を受賞

した。

①「TRUSCO 新型

こまわり君」

2003年に販売を

開始した、軽くて、静か

で、丈夫な小型樹脂台車

アルモーテル。天板をスッ

シュ構造にすることで、静

音性を高め、必要なとき

にだけ起として使用する

PB商品2点が受賞

トラスコ中山

小型樹脂台車など

PB商品2点が受賞

小型樹脂台車など

PB商品2点が受賞

小型樹脂台車など

PB商品2点が受賞

小型樹脂台車など

小型樹脂



総会の様子

地区・関西地区・中部地区・北陸地区の4地区に
キワ精工の有力代理店の集い。2年に一度、各地区
が見送られたため、本社

ユキワ会が11月5、6日の2日間開催され、初日に新潟本社で開かれた総会には会員である代理店とユキワ精工の幹部社員ら合わせて37人が出席した。

全国ユキワ会は、関東新潟県は日本海に沿つてあり、海に沿っている部分は大体330km。ちょうど新潟市から東京日本橋までと同じ位の長さで、南から上越・中越・下越に分かれ、長岡市や小千谷市のあるここ中越は製造業が多い。長岡から田中角栄氏が輩出され、ついで河井『咲』で河井邦彦の小説『咲』で河井邦彦が有名になつたなどと当地の紹介を交えて



七里ユキワ会会長



酒巻ユキワ精工社長

いる。ただ、米国の関税政
府が比較的良好に推移して
いる。また、太平洋戦争時
の山本五十六は長岡出身そし
て司馬遼太郎の小説『咲』で河
井邦彦が有名になつたなどと当地の紹介を交えて

武藤直俊ユキワ精工営業部長の進行で始まり、開会にあたって七里俊雄会長、本社・新潟県長岡市)が「2年ぶりのユキワ会に皆さんお集まりいただき有難うございます。」と挨拶。出席者の紹介に続いて酒巻社長挨拶に立った。

は、全国ユキワ会への参

加と同社製品の販売に対

する支援に感謝し、併せ

て同社の販売状況を取り組みなど概況を報告した。

報告によると、202

4年度の販売状況は国内販売輸出ともに前年度比11%減。ドリルチャック

ク製品は輸出の伸びにより増加したが、その他の

製品は減少、特に販売比

率が最も高いロータリーテーブル製品が大きく減

少したこと、2桁のダウンとなつた。輸出比率

は59%となつていて。

一方、2025年度上半期の販売実績は前年

おり(7月以降、主に輸出

で販売が回復してきてい

る状況で、総販売として

は少しづつ元に戻りつつある」と酒巻社長。「電動工具メーカーからの注文

が比較的良好に推移して

いる。ただ、米国の関税政

府が比較的良好に推移して

